



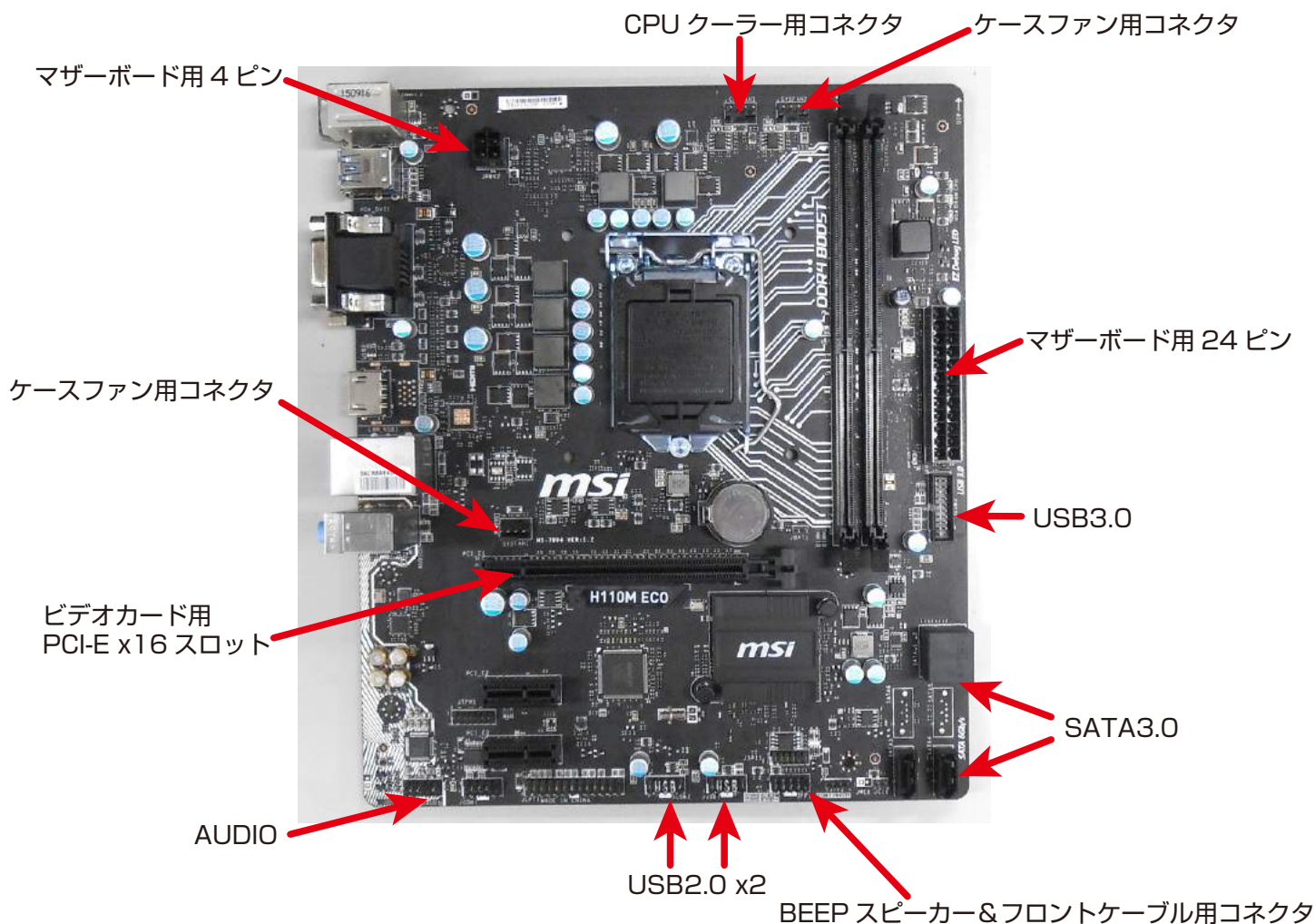
自作セット パーツの犬モデル 105 詳細マニュアル



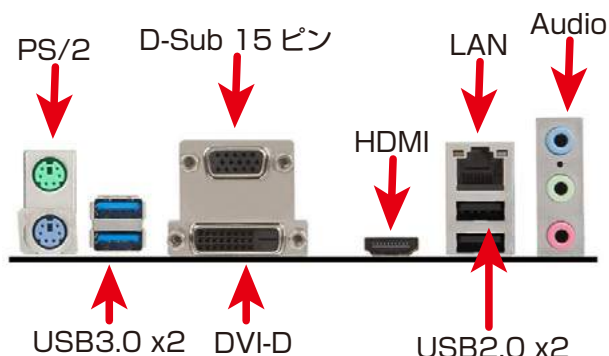
この詳細マニュアルでは、パーツの犬モデル 105 で使用するマザーボード上のコネクタや、組み立て時におけるモデル特有の注意点を解説します。
パソコンの基本的な製作方法は、「自作パソコン 組立マニュアル」をご覧ください。
http://www.dospara.co.jp/5info/img/lp_jisaku/jisaku_manual_150326.pdf

マザーボード (H110M ECO) の各コネクタ

- ※マザーボード付属の SATA ケーブルは 2 本です。標準構成の HDD・光学ドライブで使用しますので、SSD などを増設する際は SATA ケーブルも別途ご用意ください。
- ※マザーボードのケースへの取り付けはインチネジを使用します。
- ※メモリが 1 枚の場合、CPU に近いスロット (DDR4_A1) に取り付けてください。
- ※本マザーボードは正常起動時に BEEP が鳴りません。



背面の出力端子



付属の背面用パネルには爪が 3 か所あります。
パネルをケースに取り付ける前に、内側へ折り曲げておきましょう。

組み立て時の注意点

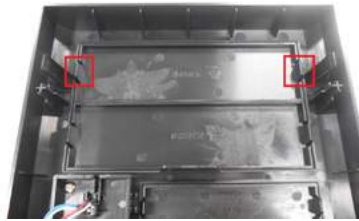
1. 光学ドライブの取り付け



① ケース前面パネルに手を入れ、引き出す準備をします。



② パネルを引きながら、赤枠のロックを外側に、赤枠が外れたら青色のロックを内側に押し、下の方から少しずつパネルを外します。



③ パネルを外したら、触りやすい側の爪を内側に曲げながら、5インチベイのカバーを外側に押し出します。カバーが外れたらパネルを戻します。爪を強く押しと折れる事がありますのでご注意ください。



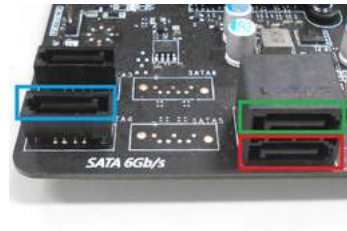
④ 赤枠のロックを少し引き、光学ドライブ前面から挿入します。ドライブのネジ穴がロックの真下（青枠）に来たら、ロックを押し、ドライブを固定します。

2. HDDの取り付け



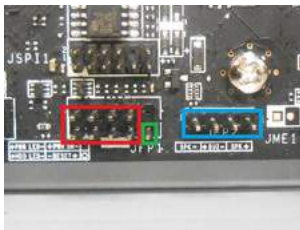
⑤ 赤枠のネジを外し、ベイを取り出してHDDを取付けます。先にケーブルをまとめるため、まだ戻さないでください。

3. SATAケーブルの接続場所

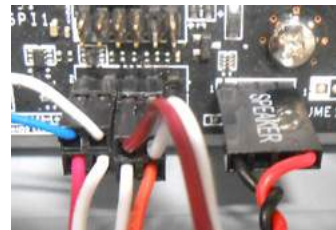


⑥ 起動用のHDD/SSDはSATA1（赤枠）、光学ドライブはSATA4（青枠）に接続します。別途HDD/SSDを追加した場合は、SATA2（緑枠）に接続します。

4. フロントパネル&BEEPスピーカーの配線

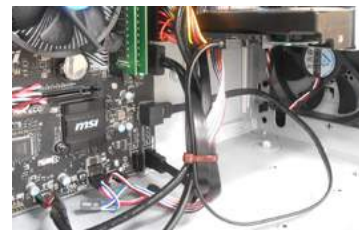
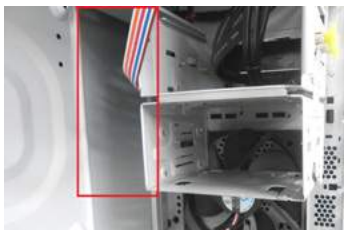


⑦ 赤枠部分にフロントパネル用ケーブルを、青枠部分にBEEPスピーカーを配線します。緑枠のピンは使用しません。



⑧ 各種ケーブルを写真の様に配線してください。

5. ケーブルマネジメントについて



- ⑨ 本ケースは、3.5インチベイの裏側や光学ドライブの下部にスペースがあります。電源ケーブルを赤枠に隠す様にまとめ、ケーブルタイで縛ると良いでしょう。
- ⑩ 電源ケーブルを縛る時は、HDDや光学ドライブ用のSATA電源ケーブルと一緒に束ねない様に残しておきます。
- ⑪ 前面パネル用や、USB・AUDIO・SATAケーブルは、HDD取付け後にその周囲で縛ります。写真はHDDの背後ですが、状況に応じて前面でも構いません。なお、SATAケーブルは負荷に弱いので、強く曲げないでください。

UEFI の基本設定

UEFI 画面に入るには、PC の電源を入れた直後から DEL を何度か押し続けてください。

この設定は、Windows 8.1/10 64bit 版向けです。Windows 7 や、8.1/10 32bit 板の場合、CSM・FastBoot・SecureBoot 設定は不要です。

1. 時刻設定



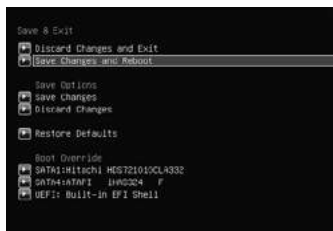
初期設定時は時刻が日本時間ではありません。「System Status」タブ内の「System Time」にある時間をクリック&数値入力で変更してください。

3. Secure Boot 設定



2. の CSM 設定を「Enable」にすると、下部に「Secure Boot」項目が出現します。先に進み、「Secure Boot Support」を「Enable」にします。「Secure Boot Mode」は「Standard」です。

5. 設定保存と再起動



その他設定はデフォルトで構いません。最後に「Save & Exit」タブの「Save Changes and Reboot」を選択し「Yes」をクリックすると、設定を保存して再起動します。

2. CSM ・ Fast Boot 設定



「Advanced」タブの「Windows OS Configuration」内の「Windows 8.1/10 WHQL Support」を Enable にします。すると Fast Boot が自動的に「Enable」になります。「MSI Fast Boot」を「Enable」にすると、高速すぎて起動時に DEL を押して再度 UEFI に入るのが困難になりますのでご注意ください。

4. Boot 順番設定



「Boot」タブの「FIXED BOOT ORDER Priorities」の「Boot Option #1」を「UEFICD/DVD」にして、予め OS 用ディスクをドライブにセットしておく、再起動時に OS 用ディスクをすぐに読み込みます。

6. Windows 7 インストール時の注意点



Intel 100 シリーズマザーボードの USB は x H C I のため、Windows 7 のインストール時に USB の操作ができなくなります。PS/2 接続のキーボード or マウスを使用するか、UEFI 内の「Advanced」タブ→「USB Configuration」にある「XHCI Hand-off」を「Enable」に設定して下さい。

「Enable」時は USB の速度が低下する事がありますので、OS や USB3.0 のドライバインストール後は「Disable」に戻すことをお勧めします。

●モデル 105 組立例 完成画像です。

完成後の OS やドライバインストール方法は、「自作パソコン 組立マニュアル」をご覧ください。



■お困りの際はこちらまで

パソコンの故障修理・診断・増設はおまかせ
困ったときのドスパラサポート
<http://pc119.dospara.co.jp/>



■ご購入・お問合せはこちら

ドスパラ通販サイト
<http://www.dospara.co.jp/>

